

宮田茂子 （註） 俳人。明治二十一年八月七日千葉縣生乳。昭和二十五年六月十日歿（八六一一九六）。本名保。別名神畑勇。都新聞社勤務。

初の松根東洋城人の勲章、俳誌『遊柿』の縁をも、のち自由律俳句を作る。昭和十年『現代俳句』、二十一年『璞』創刊主宰。

著書『俳句の故事解説』（昭和二年八月、二十日星文閣）、『（昭和）大成新修

歳時記』（昭和六年五月一日大阪・近代文藝社）、『正岡子規研究』

（神畑勇名、渡邊順三、篠田天郎共編、昭和八年十一月十五日樂浪書院）、『石

川啄木研究』（同、合著、金田一京助、上坂善喜編、昭和八年十二月五日樂浪書

院）、『近代俳句研究』（編、昭和九年六月一日樂浪書院）、『新興

俳句の展望』（編、昭和十一年十一月二十日東洋閣）、『（第一）川崎

の昔々語の』座談會』（記、昭和十二年四月川崎郷土愛護調査會）、

『二茶の精神分析』（大槻憲二共著、昭和十二年五月二十日岡倉書

房）、『近代日本文學の分析』（同、昭和十六年十一月十八日霞ヶ關

書房）、『青藍句集』（編、昭和二十二年十月十五日青藍句集刊行

會）等。